

施策検討部会の報告について

1 部会の目的

プラン 2 1（第三次）の推進に係る具体的施策の検討を行う。

2 開催日時

第 1 回 令和 7 年 8 月 2 5 日（月曜日） 午後 4 時 3 0 分から午後 6 時まで

第 2 回 令和 8 年 2 月 5 日（木曜日） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 3 0 分まで

3 議事等

第 1 回

- (1) 令和 7 年度施策検討部会等のスケジュールについて
- (2) 東京都健康推進プラン 2 1（第三次）に関連する事業の実施状況・方向性について

【主な意見】

- (2) 東京都健康推進プラン 2 1（第三次）に関連する事業の実施状況・方向性について

○ 栄養・食生活

- ・ 減塩については、日本は塩で味付けする文化があるので、個人の努力だけでは難しい部分もあるのではないか。今年度実施する「小売販売事業者と連携した減塩キャンペーン」の効果検証は難しいかもしれないが、地道に進めていくことが非常に重要だと思う。
- ・ 野菜の摂取量について、グラム表記はイメージが付きにくいので、表現の工夫があると良い。

○ 身体活動・運動

- ・ 歩数 8,000 歩以上の人の割合について、経年で見ると、6 5 歳から 7 4 歳までの方の減りが大きいように思う。こういった傾向の要因をふまえた普及啓発が何か必要ではないか。全体的な啓発に加え、指標の動向をふまえたプラスアルファの取組ができると、指標改善に向けてより効果的であると思う。
- ・ 歩数 8,000 歩以上の人の割合が 6 5 歳から 7 4 歳までの方で急減している要因としては、例えば高齢者の就労や就農人口の割合等、様々な要因が考えられるのではないか。
- ・ TOKYO WALKING MAP に掲載されているウォーキングコースは、区市町村等が作成したものなので、自治体をまたいだコース設定がほとんどない。できれば、自治体をまたぐようなコースもあると良いと思う。

○ 喫煙

- ・ 喫煙率の低下について、たばこをやめている方の多くが加熱式たばこ等に移行しているという話もあり、問題として挙がっている。調査のやり方次第で、加熱式たばこへの移行の有無について、ある程度把握することも可能ではないか。都は、加熱式たばこの普及度が高い可能性もあるので、喫煙率を見るときは、こうした状況を考慮した方が良いと思う。
- ・ 水たばこについては、プラン 2 1（第三次）に明記されていないが、取り扱う店舗も増えているので注視していく必要があるのではないか。

○ がん

- ・ 生活習慣の改善を促す啓発と、がんのような病気の予防を促すための啓発では、方法が異なると思う。がんは特別な病気で非日常、という感覚で、日常的に予防の意識がないことが多い。ウォーキングや女性の健康等は関心のある方も多いと思うが、がんとなると自分事として捉えるのが難しくなるので、検診につなげていくには工夫が必要。啓発にあたっては、その違いを考えて検討した方が良いのではないか。

○ 女性の健康

- ・ 同世代のインフルエンサーをうまく活用し、対象者に対して、しっかり問題意識や自覚を促すことが重要。
- ・ インフルエンサーの活用については、がんや身体活動・運動にも共通する。サイトへのアクセスを待っているだけではなく、インフルエンサーを巻き込んで、例えば、みんなでウォーキングスタンプラリーをしよう、というように、キャンペーンやイベント化することで、アクセスの増にもつながると思う。

○ その他（共通）

- ・ 資料について、アクセス数や参加人数等の数字があるが、その数字をどう解釈したらよいか、都としての考えを入れてもらえると良い。また、どのような視点での意見を委員に求めているか、ということを確認に説明してもらえると良い。
- ・ 個別の事業だけではなく、プラン全体の事業について、年度ごとの評価が必要ではないか。全体的ものを示した上で、各分野についてレビューしていくと、きちんと事業の見直しができると思う。

第2回

- (1) 東京都健康推進プラン21（第三次）各指標の進捗について
- (2) 東京都健康推進プラン21（第三次）に関連する取組の実施状況について
- (3) 令和8年度の取組について

【主な意見】

(1) 東京都健康推進プラン21（第三次）各指標の進捗について

- ・ 例えば「人口10万人当たり糖尿病性腎症による新規透析導入率」や「人口10万人当たりCOPDによる死亡率」の推移を見ていくにあたっては、年齢調整がされているか等も考慮が必要になってくる。数値の解釈をするにあたり、そういった補足等が資料に入っていた方が良い。

(2) 東京都健康推進プラン21（第三次）に関連する取組の実施状況について

- ・ 「小売販売事業者と連携した食環境整備」に関連し、厚生労働省が進める「食環境戦略イニシアチブ」についても登録を検討してはどうか。
- ・ プラン21（第三次）のパンフレット（案）にある飲酒のページに「適量」の表記があるが、この「適量」の表現については、WHOでも現在議論になっている。量を示すことが正しいか、という点に様々な意見が出ているところなので、今後表現の変更が必要になる可能性はある。
- ・ 健康企業宣言をしている企業への情報提供にあたり、都のウェブサイトのリンク等を活用しながら普及啓発を行っている。パンフレットの内容や情報が更新された際に、リンクがある媒体であれば、アップデートも即時性があって便利なので、より企業等にとっても使いやすいと思う。

(3) 令和8年度の取組について

○ 眠り方改革キャンペーン

- ・ 睡眠に係る数値が低下している要因として、SNSやスマホ等の端末の利用が影響していると思うので、その対策も考えていく必要がある。リーフレット等にそういった言及があることで都民への普及啓発につながるのではないかな。
- ・ 働く世代や若い世代は、週末の夜更かしや入眠時刻の先延ばし等、社会的ジェットラグが問題になっているので、SNSや動画での啓発は刺さるのではないかな。特に、夜の時間帯にそういった啓発を行うことで、より効果的になるのではと思う。
- ・ 特に若い世代は、睡眠時間を優先することがもったいないと感じる人も多いのではないかな。そういった層には、睡眠時間の確保だけを促すのではなく、良い睡眠や質といった別の視点からのアプローチもあった方が良いと思う。

○ 若者の自殺防止に向けた普及啓発

- ・ 市販薬をオーバードーズする若い方は、必ずしも自殺目的ではなく、しらふでいることが辛いという理由の方も多と思うが、その中にはオーバードーズの有害性の認識があまりない方もいる。そういった方に向けて、オーバードーズによる影響等をきちんと伝えることも大切ではないかな。

○ 健康優良企業 知事表彰の創設

- ・ 健康経営に取り組む企業のモチベーションにつながることで良いと思う。

○ 女性特有のがんの検診受診促進キャンペーン／女性のがん検診受診応援事業

- ・ 受診だけを促すのではなく、検診受診に係る自己負担額等もあわせて案内できると良い。